



えひめ農林水産業振興プラン2026（案）の概要

【基本方針】 取り巻く環境が目まぐるしく変化する中で、将来にわたり安心して生産活動が継続できる農林水産業の実現

【推進方向】 ・気候変動等によるリスクを最小限に抑える予防対策
・担い手が減少する中での生産量・品質の維持
・儲かる農林水産業の実現に向けた取組強化

【集中して取り組む施策】

- ◆多様な担い手の確保・育成（新規就業者支援の充実、経営体質強化、女性・外国人材など）
- ◆生産性向上に向けた農林水産業DXの推進（スマート技術、情報通信環境整備、高度人材育成など）
- ◆現場ニーズに対応した試験研究開発（気候変動等に適応する生産技術や品種開発、普及など）
- ◆高収益化を図るブランド化と輸出促進（ブランド商品の生産振興・保護、国内外への販路拡大など）
- ◆環境に配慮した農林水産業（環境負荷低減、多面的機能、生物多様性の保全など）
- ◆西日本豪雨災害からの創造的復興（被災園地の基盤整備・早期成園化、営農支援など）

人づくり

モノづくり

地域づくり

農 業	新規就農・定着の促進 経営基盤の強化	高品質化・高付加価値化 生産基盤整備の推進	鳥獣害対策の強化 防疫体制の整備
【主要指標】 農業産出額 1,400億円	多様な人材の活躍促進 高度農業人材の育成 農業保険の普及啓発 など	先端技術の活用 ブランド力強化 施設の再編整備の推進 など	防災・減災対策 地産地消・食育の推進 多様な交流の促進 など
林 業	多様な人材の就業促進及び定着 事業体の経営安定化	森林の若返り促進 「暖すぎ・暖ひのき」の販売促進	地球温暖化防止対策 災害に強い森づくり
【主要指標】 林業・木材 産業産出額 580億円	労働者の処遇や安全性の向上 高度林業人材の育成 経営改善・収益確保対策 など	先端技術の活用 建築物等への木材利用拡大 輸出力強化 など	適正な森林管理・里山保全 森林環境教育の推進 森林病虫獣害対策 など
水産業	新規就業者の確保・育成 就業後の経営の安定化	新しい養殖技術開発 海外販路の規模拡大	漁家経営基盤の維持発展 漁港の防災対策
【主要指標】 漁業産出額 1,200億円	就労環境の整備・改善 高度水産業人材の育成 制度資金の有効活用 など	資源管理の推進 IT技術を活用した試験研究 県産水産物の価値創造 など	漁場の管理・保全 内水面漁業の振興 漁村の魅力発信 など

【計画期間】 令和8（2026）年度～令和12（2030）年度